

令和7年度 地域循環共生圏づくり支援体制構築事業

中間支援ギャザリング資料（中間支援振り返りシート）

活動テーマ

『500人が創るウェルビーイングな地域を目指す』
～翠小学校エコフロー事業に学び、豊かな地域の将来像をデザインする～

活動団体の活動地域：伊予市双海町翠地区

活動団体名：双海町翠地区ほたる保存会

中間支援主体名：NPO法人ふたみラボ

中間支援主体としての獲得目標と達成状況

■ 中間支援主体としての獲得目標 【R7年度当初目標】

自身の地域の魅力や価値を自覚することは、住み続ける意志や地域への移住意欲増大を促す情報発信の上でも、必須である。

地域の魅力や価値について地域住民が広く深く理解できるよう活動団体を支援し、これまでの環境問題に関連する地域での取り組みや先進事例・参考事例などを題材とした勉強会を開催することで仲間づくりを支援する。

■ 中間支援主体としての獲得目標に対する振り返り（目標達成状況）

本事業については、始めたばかりだが、双海地域内だけではなく市内からも興味があるとの声を聴くようになり、知ってみたい参加してみたいとの声がある。双海だけでなく伊予市全体が過疎化の進む地域であり、持続可能な地域を目指すことが課題となっているのではないかと感じる。

- ・ 上灘川水量調査と地域資源に関する情報交換を毎月定例開催したことにより、活動団体に地域循環共生圏についての理解が浸透した。
- ・ その一環として、耕作放棄地を活用したビオトープ整備のアイデアが出され、地権者と担い手のマッチングを支援し、ビオトープの専門家を交えた勉強会開催を支援した。
- ・ 耕作放棄地を活用したオリーブ園整備に取り組む団体と出会い、小学校児童が植樹に参加するよう支援することにより、地域での関心を高めた。農家から耕作放棄地を活用してほしいという複数の申し出を得ている。

このように、地域資源を見出し活用する動きが生まれてきた。

中間支援機能ごとの振り返り

チェンジエージェント機能		R7獲得目標（R7年度当初設定） 高めたい機能（◎／○）とその理由		現状の自己評価（R7年度末時点） 自己評価（◎／○／▲）とその理由	
変革促進	物事を整理する	○	現状把握ができていない	◎	定例会により地域資源の発掘整理ができた
	意味づける	○	課題解決の案を創出できていない	○	地域資源の発掘成果の活用方法を検討
	癒しとなる	○	地域の人が想いを話す機会がない	○	定例会で想いや意見を出す機会を設けた
	見通しをつける	◎	地域資源を把握し方向を創造できていない	○	地域組織の把握と連携ができてきている
プロセス支援	話を聞く	○	地域コミュニティが衰退している	○	地域の状況を意見出しできた。
	場を開く	◎	地域コミュニティが衰退している	○	定例会を毎月できている。
	喝を入れる	○	中心的な人材を発掘できていない	◎	中心的な人材を発掘できた
	現在地を確認する	◎	地域コミュニティが衰退している	○	地域への情報発信の場を確保できた
資源連結	新しい人を入れる	◎	地域人材を把握していない	◎	翠小PTAや移住者など人材の確保ができた
	事例を紹介する	○	情報共有ができていない	○	勉強会等まだまだ不十分である
	引き出す	◎	地域の特徴を理解していない	○	地域の特色を整理できた
	拡散する	○	地域の特徴を共有していない	▲	地域住民や地域外への情報発信が不十分
問題解決提示	文字や図に落とす	◎	地域の状況や強みを整理できていない	○	曼荼羅を随時更新できている
	問いを立てる	○	強みを見つけていない	◎	強みとなる地域資源の確認が進み、活用が始まった
	会議を進行する	○	取りまとめ役の人材確保	○	事務人材の確保ができている
	落としどころを探る	◎	あるべき姿を創出できていない	○	あるべき姿への議論が進んでいる
その他	※必要に応じて追加				

今後の中間支援主体のありたい姿

■ 中間支援主体としての本事業終了後の地域づくりへの貢献 【R7年度当初目標】

団体として目指す持続可能な小集落の実現のために、翠小学校エコフロー事業をバイブルとし、翠小学校を中心とした地域づくりにおいて、小学校・地域住民・地域団体・行政を繋ぎ、地域循環共生圏の概念を取り入れ、伊予市（双海町）に地域共生圏づくりを見える化していく。そのことが地域住民や各関係者の気づきに繋がり、制度の理解と取組の醸成に繋がる。

また、地域の各主体同士に加え、環境教育が地域づくりに繋がる社会の潮流を地域外にも広め、地域とのつながりを創出するハブ役となり、より多くの地域の見本となることで貢献できるよう努める。

■ 地域づくりに貢献していくために、今後、どうなりたいか

目指す姿	目標達成に向けた、次年度の行動	チェンジエージェント機能での分類
空家や耕作放棄地など地域資源を活用し、地域コミュニティの再構築と経済循環を産出し、500人のウェルビーイングを創出する。	<ul style="list-style-type: none">・移住者や二拠点生活者などがやりたいことに対して地域資源とのマッチング推進の役割を担う。・事業計画の策定支援と検討を行い、活動団体や関係団体がローカルSDGs事業を実装できるよう支援する。・活動の見える化や情報共有からマンダラの更新や事業の整理を行い地域振興に努める。	<ul style="list-style-type: none">●「変革促進」物事を整理する●「プロセス支援」現在地を確認し、場を開く●「問題解決提示」落としどころを探り、会議を進行する

■ 地域づくりに貢献していくために、外部地域や関係者と連携や協力したいこと

- ・オリーブ園やグリーンツーリズム等の取組の推進から、情報収集を兼ねて全国で実践している活動団体や農林水産省担当課
- ・ビオトープの設置を検討しており、教育と地域循環を進めていきたいと考えていることから実施団体や環境省担当課